

経験・完了/終結を表す「过」

过=過

日本語の「過」にあたる漢字である「过」は中国語で経験を表し、また完了や終結を表す時もあります。今回はそんな「过」について詳しく学習していきます。

経験を表す“过”

「～したことがある」という経験を表すには、動詞の後にアスペクト助詞の“过”をつけて表します。“过”は発音は“guo”で、轻声です。

我在日本留过学。	私は日本で留学をしたことがあります。
我看过这部电影。	私はこの映画を見たことがあります。
我去过中国。	私は中国に行ったことがあります。
我吃过一次寿司。	私は寿司を一回食べたことがあります。

* 『アスペクトって何?』

→中国語では、一つの動作の行われている時間が、過去、現在、未来のいずれにあるかを示すには、主として時間詞 (ex. 去年、昨天) を用います。一方、一つの動作は、開始したばかりなのか、継続中であるのか、既に完了しているのか、等、それぞれことなった段階にあると言え、そのどの段階にあるのかを、動作のアスペクト(=態)と言います。このアスペクトを示す助詞を「アスペクト助詞」と言います。

経験の「过」の否定形・疑問形

「～したことがない」という否定は、副詞“没(有)”で打ち消したあと、アスペクト助詞の“过”はつけたまま残します。今まで～したことがないと強調して言う場合は「主語+从来没有～」をよく使うので覚えておきましょう。疑問文には「吗?」疑問文と「～没有?」を使う疑問文の2種類があります。

否定形	我没看过这部电影。	私はこの映画を見たことはありません。
	我从来没有去过中国。	私はこれまで中国に行ったことはありません。
疑問形	你见过他吗?	君は彼に会ったことある?
	你爬过那座山没有?	君はあの山に登ったことある?

形容詞＋“过”

一部の形容詞には“过”をつけることができ、かつてそうであったことがあるという意味を表します。（形容詞の後に用い、現在と比較してどうであったかを述べ）...であった。時間を示す語句を伴うことが多いです。

她小时候胖过。	彼女は小さい頃太っていた。
前几天冷过一阵，这两天又暖和了。	数日前は一時期寒かったが、この2,3日は暖かくなった。

完了・終結を表す“过”

動詞の後につくアスペクト助詞“过”には動作の完了・終結を表すものがあります。「～し終えた」という意味ですが、経験の“过”よりも少し結果補語に近い性質を持っているので、これをアスペクト助詞ではなく結果補語と扱っているものもあります。

発音は、経験の“过”が必ず轻声だったのに対して、終結を表す“过”のほうは轻声で読んでも第4声で読んでもどちらでも大丈夫です。形式上の特徴は、後に“了”を伴うことができることです。経験の“过”は“了”を伴うことはできませんから、“～过了”という形があったら、その“过”は終結を表す“过”だと考えて間違いありません。否定は先ほどの「経験を表す“过”」と違って、“没(有)”で否定した時に“过”は消え、“还没～呢”のパターンで言うことが多いです。

疑問文	牙膏用过了吗？	歯磨き粉は使い終わった？ →用が済んだかどうかを聞く
否定文	还没有用过呢。	まだ使っていないよ。
肯定文	我们吃过饭了	私達は皆食事を済ませた。
肯定文	房间已经打扫过。	部屋は既に掃除してあります。
否定文	钱还没付呢。	お金をまだ払っていません。

